

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

氏名	いまむら きちこ 今村 祥子
(研究テーマ名) インドネシア・スハルト体制における都市の暴力と公権力	
(研究活動実績) [現地調査] 2013 年秋にインドネシア・ジャカルタにて、3 週間のフィールドワークを行い、スハルト体制期（1967 年-1998 年）に起きた、国家による暴力事件に関する調査を行った。今回、中心的課題としたのは、1984 年にジャカルタで起きた、国軍によるイスラム教徒デモ隊に対する無差別発砲事件、いわゆる「タンジュンプリオク事件」である。前年度に行ったフィールドワークにおいて、すでに予備的な資料収集とインタビューは行っていたが、今回は、被害者や人権団体などへのより詳しいインタビューを行ったほか、スハルト体制崩壊後に実施された、同事件に関する人権法廷の実態についても資料収集と聞き取りを実施した。 [論文] 上記の現地調査の成果は現在執筆中の博士論文に盛り込む予定であるが、そのうちの一部は、2014 年 8 月刊行予定の学術雑誌『地域研究』（京都大学地域研究コンソーシアム）に、「インドネシア・タンジュンプリオク事件 ー法と買収と脅迫ー」として掲載予定である。	